



# TRAVEL INFORMATION

## February 2018

M.O. TOURIST  
エムオーツーリスト

### 日本航空 / 2018年度も国際線の増便を継続

日本航空(JL)が、2017年度より増便し、現在1日2便運航している成田=バンコク線を、2018年度も同様に増便継続します。また、「JAL SKY SUITE」機材を投入します。

「JAL SKY SUITE」機材の詳細については  
<https://www.jal.co.jp/news/ky/> をご参照ください。

#### 成田(NRT)/バンコク(BKK)線

往路	JL717	NRT 12:40発	BKK 18:00着
	JL707	NRT 18:15発	BKK 23:35着
復路	JL708	BKK 08:15発	NRT 16:05着
	JL718	BKK 23:25発	NRT 07:15+1着

### マレーシア航空 / 5月に成田-KUL線増便

マレーシア航空(MH)は5月8日から、成田/クアラルンプール線を週10便から週12便に増便します。需要の好調を受けたもので、現在は水・金・日曜日に運航しているMH71便とMH70便を、ほぼ同じ時間帯で火・木曜日にも運航します。

使用機材は現行と同じ、ビジネスクラス27席、エコノミークラス261席のA330-300型機。加えて、A330-300型機で毎日運航しているMH88便とMH89便については、MH88便は5月5日から、MH89便は翌6日から、それぞれ使用機材をA350-900型機に変更します。座席数などの詳細については後日発表する予定です。

### タイ国際航空 / A350を成田・羽田・関空線に導入

タイ国際航空(TG)はA350-900型機を成田、羽田、関空/バンコク(スワンナプーム)線に順次導入します。1月17日から成田線で運航を開始しており、



2月17日からは羽田線と関空線にも導入します。同機材を日本線に導入するのは今回が初めて。

A350-900型機はビジネスクラス32席、エコノミークラス289席の計321席。ビジネスクラスはフルフラットシートでシート幅は約53センチメートル。エコノミークラスのシート幅は46センチメートルで、座席は120度リクライニングすることができます。同機材は日本発は午前中、バンコク発は23時台に出発する便で使用。1日3便で運航する成田線はTG643便とTG642便、1日2便の羽田線はTG683便とTG682便、同じく1日2便の関空線はTG623便とTG622便が対象となります。

### プノンペン / インターコンチ ホテル名称変更

カンボジアの首都・プノンペンの「インターコンチネンタルホテル」は、2018年2月より、経営がシンガポール資本に変わります。これを受け、2018年2月1日より名称を変更し、新たなスタートを切ることになりました。

■ 新名称: ザ・グレート・デューク・ホテル  
これにより、プノンペンにおいて、インターコンチネンタルブランドのホテルは無くなることとなります。

### 台北 / 101展望台 旧正月営業時間変更

世界でも有数の高さを誇る超高層ビル「台北101ビル」の展望台は、旧正月を迎えるにあたり、旧暦の大晦日にあたる2018年2月15日は、営業時間が以下の通り変更となります。

■ 2月15日の営業時間:  
09:00~18:00 (チケット販売時間: 09:00~17:15)  
※通常の営業時間: 09:00~22:00  
尚、翌日2月16日からの営業時間は、通常通りです。



### ソウル / インチョン空港第2ターミナル開業

仁川国際(インチョン)空港は1月18日より、第2ターミナルの供用を開始しました。チェックインや乗り継ぎなどで時間短縮を実現し、年間1800万人が利用できます。

総工費22億ドル(約2448億円)、地下2階、地上5階建てで、緑を多く取り入れています。

1月18日から、大韓航空(KE)のほか、デルタ航空(DL)とエールフランス航空(AF)、KLMオランダ航空(KL)の航空連合・スカイチーム加盟各社が、第1ターミナルから移転しています。

セルフチェックイン機は62台設置。これまでの第1ターミナルには92台あったものの、大韓航空によると、乗客100万人あたりに換算すると、第2ターミナルは3.4台、第1は1.7台になるようです。

自動手荷物預け機は34台で、乗客100万人あたり1.89台。第1ターミナルは14台で、100万人あたり0.26台となります。



大韓航空は、第2ターミナルにファーストクラス利用客専用のチェックインラウンジを開設。搭乗手続きや手荷物預け入れ、などで専用スタッフによるサービスを提供します。

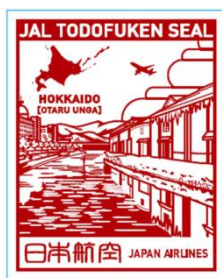
～みなさん、ご存知ですか？～  
今回はJAL国内線のおもてなしをご紹介します！

国内線の機内で客室乗務員が配布する  
都道府県シールの第2弾が登場

～第1弾の「千社札シール」に続き、「JAL TODOFUKEN SEAL」を配布～

JALグループでは、短いフライト時間であっても、「お客さまとの繋がりをこれまで以上に大切にしたい」という客室乗務員の想いを形にするため、国内線に乗務するすべての客室乗務員が自身に縁（ゆかり）があり、最も親しみを感じる都道府県の形をデザインした「縁（ゆかり）都道府県バッジ」を着用しています！（JAL およびジェイ・エアの客室乗務員）

2017年6月までは、「千社札シール」を配布していましたが、好評につき第2弾として、「JAL TODOFUKEN SEAL」が誕生しました。このシールは全国の都道府県、各地を代表する名勝などを描いたシールです。客室乗務員から「縁（ゆかり）都道府県バッジ」と同じ都道府県のシールをお渡しして、お客さまとのコミュニケーションのきっかけを作り、登場します。



### JAL TODOFUKEN SEAL

「縁（ゆかり）都道府県バッジ」と同じ都道府県の風景がデザインされたシールを客室乗務員が携帯し、希望したお客さまにお渡しします。

- ① 期間：2017年10月3日～2019年3月31日
  - ② 対象便：J-AIR 運航便含むJAL 国内線全線  
(そのほかのJAL グループ航空会社運航便、FDA 運航によるコードシェア便は対象外となります。)
  - ③ サイズ：縦5.5cm x 横 4.5cm
- ※全員にお渡しできるものではありません。

### 縁（ゆかり）都道府県バッジ

国内線に搭乗する客室乗務員が各都道府県をデザインしたバッジを着用！

- ① 着用期間：2017年4月1日～2019年3月31日  
(2016年7月から着用し、2017年度も継続しています。)
  - ② 対象便：J-AIR 運航便含むJAL 国内線全線  
(そのほかのJAL グループ航空会社運航便、FDA 運航によるコードシェア便は対象外となります。)
- なお、着用するバッジは客室乗務員一人一人が最も親しみを感じる都道府県を選択したもので、必ずしも出身の都道府県とは限りません。